

1. 大会開催に当たっての準備・対応

(1) 来場者の受付方法

- ・役員受付は、正面玄関に設置する。(換気を考慮しドアを全開にする。)
- ・受付の詳細については以下の通りとする。

①【出場校受付(正面玄関前)】

チーム：職印入りの一覧表(区間を記入して)

選手(チーム全員分)：JAAF体調管理チェックシート兼大会参加承諾書

引率者：引率者チェック表(一覧表)を提出

出場校：アスリートビブス・襷・補欠分AD・引率者AD・プログラム購入分を受け取る。

※受付には、アルコール消毒と非接触の体温計を設置。並ぶ際のソーシャルディスタンスを促す目印を設置。

※スタート位置は申し込み時に抽選を行う。配布するものについては、事前に袋に詰めておき、当日は、速やかに受付が進むようにする。

※選手の会場入りが遅れる場合には、大会事務局に連絡すること。

※受付後、業者による写真撮影を行う。(第5ゲート付近)

②【学校関係者受付(TIC脇)】

管理職やその他学校関係者の方は、TICにて検温し、記名してADを受け取る。

※提出書類はありません。

③【役員受付(正面玄関)】

役員：当日の検温と体調を申告(名簿に記載) ※提出書類はありません。

(2) 大会関係者及び観客の入場制限・管理(大会会場への移動方法も含む)

- ・大会会場には、応援生徒・付き添いの入場禁止
- ・大会会場への交通手段については、各市町村教育委員会及び、所属長の方針に従う。極力、他校との接触をなくし、密にならないように配慮し、各校で生徒に指導する。
ただし、会場までの移動手段(台数)は大会事務局に申し込み時FAX様式にて報告する。
貸し切りバス or 自家用車(現地集合の送迎) or 公共交通機関
- ・前日及び当日の宿泊は行わない。

【沿道、応援への対応】

今大会は無観客とします。

引率者AD 学校関係者AD を付けている人以外は立ち止まっただけの観戦はできません。

- ・参加承諾書に、保護者の観戦の決まりを守る内容を入れることで、事前に理解してもらう。
- ・一般利用者もいるので、公園内事務所に定期的に全域放送をいれてもらう。

【撮影について】

- ・AD 所持者については、園路での写真撮影を可とするが、SNS 等にあげることのないように各校から伝える。
- ・AD を所持していない者などの撮影や、盗撮の疑いがある場合には、競技役員が声をかける。

(3) 手洗い場所・トイレ

- ・手洗い場には、石鹸を用意する。
- ・トイレや手洗い場所等、共有で使用する部分については、こまめに消毒する。
(庶務及びマーシャル)
- ・選手及び役員は陸上競技場のトイレ及び手洗い場を使用し、密集することがないように工夫する。また、一般利用者の方との接触を極力さける。

(4) チーム陣地、待機スペースについて

- ・選手待機は、サイドスタンド・メインスタンド・コンコース・バックスタンドを使用する。競技場外の場所には設置しない。テント等を使用する場合は換気ができるようにする。
- ・チーム陣地を設置する際、他校との距離が2 m以上開くようにする。
- ・選手はレース終了後、速やかに競技場外に出ること。
- ・原則、陣地でのお弁当などの食事は控える。やむを得ず食事をとる場合には、引率者の責任で黙食を徹底する。

(5) ゴミの廃棄

- ・ゴミについては、必ず各自で持ち帰る。大会運営関係のゴミ以外は回収しない。

(6) 感染確認時の対応

- ・万が一大会開催日及び、大会終了後2週間の内に感染者が出た場合は、以下の手順に沿って対応をする

【大会開催中】

- ・発熱等、感染の疑いがある症状が出た場合。
 - ①該当者（顧問）より、医務に相談。
⇒別室（役員室②）に入れる。フェイスシールド等の予防対策をした医師又は看護師が対応。
 - ②大会役員の医師又は看護師の判断を仰ぐ。
⇒場合によっては後方支援病院、相談窓口に連絡をし、対応を確認。

【大会終了後2週間以内】

- ・感染が確認された場合には、当該校より大会事務局に報告する。
- ・回収した体調管理チェックシート及び承諾書等の個人情報は、感染が確認された場合のみ使用する。それ以外については、大会終了後1か月後に大会事務局が破棄する。

(7) 競技運営上の対応

①コースについて

- ・1区スタートは、大駐車場と競技場の間の広い場所とする。
1区のみ、スタート後外周を走り、外周の途中から園路に出て、中継前に競技場へ入る。
- ・男子2区~6区、女子2区~5区のコースは、中継所の位置を変更するのみで、選手が走るコースに変更はなし。

②W-up について

- ・ウォーミングアップは、なるべく一般の利用者と接触がないように配慮する。(近くを通る際は、2 m以上距離をとるなどの対応する)

③招集について

- ・メインスタンド（100m ゴール付近上）を招集場所とする。席を空けて、距離を取って座れるよう、会場づくりをする
- ・荷物は詰める用のビニール袋に入れさせ、荷物の自己管理を徹底させる。
- ・不織布マスクを配布し、最終待機に入る時には、そのマスクを使用し、中継線に入る直前までマスクをしておくようにさせる。

【選手の動き】

- ①招集完了後、役員の指示で、最終荷物置き場に移動する。
- ②荷物を置いた後は、最終 W-up エリアに移動。
- ③先頭がラスト 1 km 通過の通告を受けたのちに、**招集所で配布された不織布マスクをつけて最終待機場所へ移動する。**
- ④中継所整理員の呼び出し（ラスト 350 m）+ 目視で、自分のチームの選手が来た時点で中継線に入る。**中継線に入る直前で不織布マスクを外し、所定にゴミ箱に捨てる。**
- ⑤競技終了後（中継後）手洗い場で、洗顔及び手洗いを行う。
- ⑥手洗い、洗顔後、荷物置き場に戻り、速やかに自分のチームの陣地に戻る。

④中継所について

- ・荷物置き場を学校ごとに設置し、マスク等を含めて、荷物が他のものと混ざること防ぐ。
- ・招集から最終待機場所に入るまでは、選手間の距離が近くなることもあり得るので、マスクを着用させる。
- ・最終待機場所については、**大会事務局で配布された不織布マスクを着用し、話をさせずに待機。**
- ・中継所役員は、呼び出し + 中継時の安全確認 + 中継後の誘導を行う。中継線内には、なるべく入らない。

⑤競技終了後について

- ・中継後は外側に抜けて、競技場内の手洗い場で、手洗い洗顔をすぐに行わせる。
- ・荷物置き場に移動後、荷物をもって、自分の陣地に速やかに戻る。荷物置き場に留まらせない。
- ・**すぐにマスクを着用するようにする。**

⑥開会及び閉会セレモニーについて

→ ~~開会セレモニーは優勝杯返還とあいさつのみとする。~~

→ ~~閉会セレモニーは、賞状授与とフォトセッションとする。~~

※賞状メダルの配布場所は、競技場メインスタンド下とする。

※時間についてはアナウンスする。

⑦記録掲示について

- ・記録は、アナウンス及び WEB での発表のみとする。記録掲示は行わない。

2. 参加者の遵守事項

【選手及び顧問・引率者】

(1) 健康観察及び受付

・選手は大会当日の検温を含む JAAF 体調管理チェックシート兼大会出場承諾書(大会 1 週間前の検温と体調チェック、保護者の承諾と押印)を顧問に提出する。

顧問は、学校受付時にチーム(選手全員)の体調管理チェックシート兼大会参加承諾書と引率者チェック表(一覧表)を提出する。

未提出者については参加することはできない。

※提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。(家庭でとってから提出)

・以下の選手は大会に参加できない。なお、そのチームの参加については、大会事務局と相談の上、判断すること。

①発熱があった場合

大会 1 週間前の健康チェックシートで 37.5℃以上の熱が 3 日以上続いた場合、必ず病院を受診し診断を受ける。コロナの感染がなく早い内に熱が下がった場合、保護者の判断で参加するかどうかを決定する。但し、大会 3 日前からの発熱(37.5℃以上)の場合は大会への参加はできない。大会当日の発熱(37.5℃以上)も参加できない。

②大会当日風邪の症状があった場合

③同居の家族や身近な知人に感染の疑いがある方がいる場合。

④過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域へ渡航又は、当該在住者と濃厚接触がある場合。

⑤大会開催日の 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手は参加を辞退する。

※保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場はしても構わない。

⑥大会開催 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状(※5)が発症していた場合、原則当該選手は参加を辞退する。

但し、次の 1) および 2) の両方の条件を満たしている場合、大会への出場をしても構わない。1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している。(発症日を 0 日として 8 日間) 2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも 3 日が経過している。(解熱後を 0 日として 3 日間のこと。)

※5 感染疑い症状とは ▼息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合▼「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合(症状が 4 日以上続く場合及び解熱剤などを飲み続けなければならない場合)

(2) 大会開催中の注意

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

・選手は競技中以外マスクを着用する。競技中には、マスクをしなくてもよい。ただし、必要に応じて、バフなどのマスクをしてもよい。その際、熱中症対策には十分に気を付ける。

・ウォーミングアップ時にマスクを外す場合には、人との距離を 2 m 以上離し、発声はしない。

※野球場外周及び東大側バス駐車場をウォーミングアップエリアとして開放する。密を避けるとともに、一般の利用者と接触をしないよう、気を付ける。

- ・中継所及びスタート付近は、出場する選手以外立ち入らないこと。
- ・その他の場所で応援をする場合には、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保って行うこと。
- ・学校ごとアルコール消毒を持参し、適宜消毒を行う。こまめな手洗い、洗顔をする。
- ・競技終了後すぐに手洗い・洗顔を行い、その後に荷物のビニール袋をもって速やかに自分の陣地に移動する。荷物置き場周辺に留まらない。 ※招集時、中継時の動きについては別記参照。

●飲食・ゴミの処理

- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・飲み物、食べ物等は自分で持ってきたものとする。
- ・会場内で、食事をする場合には、周囲と距離（2 m以上）をとり、向き合うことなく、話をしないで食事をする。黙食を徹底するよう、顧問からも指導をする。

●ソーシャルディスタンス

- ・大会中は他人と接触したり、マスクを着用しない状態で近距離（1 m以内）での会話をしたりしない。
※濃厚接触の定義を確認し、各校、各自で意識的に行動する。
- ・一般の利用者との接触をできる限り回避する。

【大会競技役員について】

（1）基本事項

- ・競技役員に、医師又は看護師を委嘱する。

（2）大会開催中の注意

●健康観察及び受付

- ・受付場所を正面玄関に設置。
- ・当日の体温及び健康状態を申告する。
⇒名簿に記入する。
⇒必要に応じて、非接触体温計で検温を行う。
- ・選手と同様、健康状態が悪い、感染疑いのある人との接触がある場合は、役員をしない。

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・原則マスクを着用する。
- ・医務については、フェイスシールド、使い捨て手袋、を使用する。
- ・アルコール消毒を、役員入り口、中継所、最終 W-up 場、荷物置き場に設置するので、適宜消毒を行う。

●飲食・ゴミについて

- ・お弁当のゴミは、各自で持ち帰る。回収を行わない。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をするとお約束することは難しいと思われまます。万が一、新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。